

夢を紡ぎて

上田市立長小学校

学校だより

令和6年2月29日

伝統を引き継ぐ～6年生から5年生へバトンが渡されました！～



15日（木）は、今年度の児童会活動の総まとめである児童総会が行われました。6年生は、「人が喜ぶ児童会」を児童会テーマとして1年間活動してきました。その報告が各委員会からあり、それに対する意見・要望が3～6年生からたくさん出されました。その報告や意見・要望を聞いても、この1年間の児童会の活動が充実していたことがうかがえました。

そして、1月31日（水）には、令和6年度児童会選挙・立会演説会が行われ、新児童会長、副児童会長が決まりました。総会では、5年生の新しい児童会

役員が就任のあいさつをし、終了後は委員会ごとに分かれて引き継ぎを行いました。

いよいよ6年生からバトンが渡され、5年生を中心とした、令和6年度の児童会がスタートしました。これから、5年生が中心となって本格的に児童会を進めていくこととなります。

さっそく5日（火）には6年生を送る会、7日（木）に準備児童会が行われます。



「人が喜ぶ児童会」

カンボジアのチュイチョさん宅の井戸が完成し、喜びの声が送られてきました。水量、水質ともに良好であり、地域の人々はとても喜んでもらっているそうです。以下送られてきた手紙を紹介します。



【初めまして、私はこの家族の親戚です。私の家はここから3キロくらい離れています。私は毎日くらい井戸を使いに来ます。特に夕方です。よく兄弟とシャワー浴びに来ます。私も井戸を使えるようになっております。ありがとうございます。井戸を使うのは便利でとても楽しいです。井戸

が好きです。本当にありがとうございます。大切に井戸を使います。】

まさに「人が喜ぶ児童会」有言実行することができました。ご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。

さらに、6年生は1月1日に起こった「能登半島地震」への募金も行いました。被災された地域の方々のことを思い計画してくれました。全校の児童・保護者の協力で57,782円集めることができました。集まったお金は全て信濃教育会を通して日本ユネスコ協会連盟に寄付させていただきました。

新児童会長も、「仲よく、あいさつ」「困っている人のためになるボランティア活動」を公約に掲げています。6年生の思いが、5年生へと引き継がれようとしています。



ボランティア感謝の会・まとめの会

16日(金)に、日頃長小の子ども達のために大変お世話になっている長っ子見守り隊・読み聞かせボランティアの皆様をお招きして、感謝の会・まとめの会を行いました。

感謝の会では、全校が体育館に揃い6年生の代表児童から、それぞれのボランティアの皆様へ、日頃はなかなか直接伝えることができない感謝の気持ちを伝えてくれました。

まとめの会では、郷土資料室でお一人お一人から、授業参観の様子や見守り時の子ども達の様子、読み聞かせ時の子ども達の様子を伝えていただきました。「子ども達から元気をもらい癒されます。」「1学期に比べると挨拶をする子どもが増えてきましたよ。」「読み聞かせでもマスクが取れ、子どもの声が届き、笑顔が見られ嬉しい」という声をいただきました。

授業の様子は、「いのちの歌」を歌ってくれたクラスもあり、大変感動されていました。「こんなご褒美があるなら、また来年も続けたい」とおっしゃってくださいました。

見守り隊の皆さんには、子ども達の安心・安全のために大変心を配っていただき、子ども達が安心・安全に登下校できていること、読み聞かせボランティアの皆さんには、子ども達に「本を好きになってほしい」という願いで、子ども達のことを一番に考えて、本や紙芝居や新聞の切り抜きなど読み聞かせを工夫していただいていることを強く感じる事ができた会となりました。

日頃のご苦勞に改めて感謝すると共に、これからも子ども達のためにご尽力いただけることをお願い申し上げます。

昨年度に引き続き子ども達の安全・安心のために登下校の見守りをしていただける方や子ども達のために学校で働きたい(支援員・調理員・相談員など)という方を、探しております。一緒に活動していただける方がいましたら、学校まで連絡をいただければと思います。



「自己発揮できる子どもの育成」～1年間のまとめ～

今年度本校で取り組んできた「自己発揮できる子どもの育成」。21日(水)にそのまとめの会を行いました。講師には、信州大学学術研究院・教育学系教授上村恵津子先生をお招きし、午前中は全クラスの授業参観をしていただき、午後は5年生の総合的な学習の食育「実は洋食が好き…」を全職員と一緒に参観していただきました。

授業研究会では、先生方がグループに分かれ5年生の授業と各クラスの子どもの様子から「自己発揮」している子どもの姿を語り合いました。その中では、子どもたちが自己発揮している具体的な姿がたくさん語られていました。講師の上村先生からも、「自己発揮」に1年間取り組んできたことで「子どもたちが、課題に精一杯取り組み、それを様々な方法で表現している。」と積み重ねてきたことの成果が表れていると褒めていただきました。

1年間学校だけではなく、「地域」「保護者」が一つになって「自己発揮」を支えていただきありがとうございました。CS運営委員の皆様からも、「この1年「自己発揮できる子どもの育成」の目標は、随所に見られ児童の楽しい姿が学校へ何う度に伝わってきました。」という意見もいただきました。来年もさらに「自己発揮できる子どもの育成」を目指していきたいと思ひます。



通学路、校門付近の雪かき、ありがとうございます!!(株式会社カナイ、複数の地域の方々)

今年は、例年に比べ雪が少ないのですが、雪の降った朝は学校へ来ると、すでに校門付近と歩道や玄関付近の通路の雪がきれいに除雪してあります。先日の大雪でも、夕方から早朝にかけて、地域の方々子ども達のために歩道や校内の通路や駐車場を除雪してくださいました。

こどもたちのために、地域の皆さんが協力してくださることに感謝申し上げます。